

令和4年度美濃加茂市水道事業決算概要

① 業務実績について

令和4年度末における給水人口は、前年度と比較して152人(0.27%)増加し、給水件数は、前年度と比較して250件(1.37%)増加しました。

要因としては、住宅の新築などにより口径13mm(前年度比202件増)及び口径20mm(前年度比42件増)などの家庭用の給水件数が引き続き伸びていることなどが考えられます。

また普及率は99.48%となり、前年度と比較して0.01ポイント減少しました。

	令和4年度	令和3年度	比較増減	増減率(%)
行政区域内人口(人) ①	57,173	57,016	157	0.28
給水人口(人) ②	56,878	56,726	152	0.27
給水件数(件)	18,483	18,233	250	1.37
普及率(%) ②/①	99.48	99.49	△ 0.01	—

次に、年間配水量は、29,667 m³(0.45%)減少、年間有収水量は、60,584 m³(1.02%)減少しました。

また、有収率は、89.29%となり、前年度と比較して0.51ポイント減少しました。

	令和4年度	令和3年度	比較増減	増減率(%)
年間配水量(m ³) ①	6,605,887	6,635,554	△ 29,667	△ 0.45
年間有収水量(m ³) ②	5,898,444	5,959,028	△ 60,584	△ 1.02
有収率(%) ②/①	89.29	89.80	△ 0.51	—

② 予算執行状況について(税込み)(※予算額と比較するため、税込み表示をしています。)

ア. 収益的収支(3条)

収益的収入は、予算に対し96.71%の収入率で、54,483,001円の減収となりました。

収益的支出は、予算に対し94.4%の執行率となり、翌年度繰越額12,155,000円を除く82,485,393円の不用額が生じました。

なお、納付消費税及び地方消費税額は、14,118,900円となりました。

	予算額(円)	決算額(円)	差引(円)	収入率(%)
水道事業収益	1,656,830,000	1,602,346,999	△ 54,483,001	96.71
営業収益	1,354,508,000	1,327,308,054	△ 27,199,946	97.99
営業外収益	302,322,000	275,038,945	△ 27,283,055	90.98

	予算額(円)	決算額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率(%)
水道事業費用	1,690,169,000	1,595,528,607	12,155,000	82,485,393	94.4
営業費用	1,642,853,000	1,563,669,132	12,155,000	67,028,868	95.18
営業外費用	42,296,000	31,859,475	0	10,436,525	75.33
特別損失	20,000	0	0	20,000	0.00
予備費	5,000,000	0	0	5,000,000	0.00

イ. 資本的収支(4条)

資本的収入は、予算に対し110.32%の収入率となり、16,778,775円の増収となりました。この原因は、主に分担金の増収によるものです。

資本的支出は、予算に対し92.83%の執行率となり、翌年度繰越額29,706,000円を除く16,904,231円の不用額が生じました。この内訳は、建設改良費16,903,340円、企業債償還金891円です。

配水設備拡張費の執行額は、45,463,761円(令和3年度からの繰越事業を含む)で、主なものは、配水管布設工事(前平町二丁目工区、前平町2丁目第2工区)です。

配水設備改良費の執行額は、347,553,159円で、主なものは、配水管布設替工事(小山第2工区、引田第1工区、山手幹線第3工区)、市道山手線外2路線舗装復旧工事です。

また、建設改良費の繰越として配水管布設工事(牧野工区)等8件29,706,000円を翌年度へ繰越しました。

企業債償還金99,747,109円は、地方公共団体金融機構の24件と政府資金(財政融資資金)の17件の元金の償還金です。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額423,878,135円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 17,868,188円、減債積立金99,747,109円及び過年度分損益勘定留保資金306,262,838円で補てんしました。

	予算額(円)	決算額(円)	差引(円)	収入率(%)
資本的収入	162,617,859	179,396,634	16,778,775	110.32
負担金	40,184,859	37,346,634	△ 2,838,225	92.94
分担金	75,933,000	95,623,000	19,690,000	125.93
補助金	46,500,000	46,427,000	△ 73,000	99.84
投資有価証券	0	0	0	-

	予算額(円)	決算額(円)	翌年度繰越額(円)	不用額(円)	執行率(%)
資本的支出	649,885,000	603,274,769	29,706,000	16,904,231	92.83
建設改良費	440,137,000	393,527,660	29,706,000	16,903,340	89.41
企業債償還金	99,748,000	99,747,109	0	891	100.00
長期貸付金	110,000,000	110,000,000	0	0	100.00

③ 経営成績について(税抜き)(※経営成績を正しく表示するため、税抜き表示をしています。)

令和4年度の損益は、総収益1,485,987,606円に対し、総費用1,497,737,129円で、差し引き11,749,523円の純損失となりました。

ア. 収益比較

水道事業収益は、1,485,987,606円で前年度と比較すると10,669,566円(0.71%)の減収となりました。営業収益は、1,206,768,452円、総収益の81.21%を占めており、科目別に前年度と比較すると、給水収益7,887,575円(0.66%)減、受託工事収益814,274円(24.71%)減、その他営業収益693,659円(3.25%)増で、全体では8,008,190円(0.66%)の減収となりました。

営業外収益は、279,219,154円で、科目別に前年度と比較すると、受取利息及び配当金36,536円(2.19%)減、他会計負担金900,000円(642.86%)増、長期前受金戻入益3,424,379円(1.25%)減、雑収益100,461円(1.96%)減で、全体では2,661,376円(0.94%)の減収となりました。

科目	令和4年度(円)	令和3年度(円)	増減額(円)	増減比(%)
水道事業収益	1,485,987,606	1,496,657,172	△ 10,669,566	△ 0.71
営業収益	1,206,768,452	1,214,776,642	△ 8,008,190	△ 0.66
給水収益	1,182,264,360	1,190,151,935	△ 7,887,575	△ 0.66
受託工事収益	2,480,546	3,294,820	△ 814,274	△ 24.71
その他営業収益	22,023,546	21,329,887	693,659	3.25
営業外収益	279,219,154	281,880,530	△ 2,661,376	△ 0.94
受取利息及び配当金	1,633,018	1,669,554	△ 36,536	△ 2.19
他会計補助金	0	0	0	-
他会計負担金	1,040,000	140,000	900,000	642.86
長期前受金戻入益	271,519,709	274,944,088	△ 3,424,379	△ 1.25
雑収益	5,026,427	5,126,888	△ 100,461	△ 1.96

イ. 費用比較

水道事業費用は、1,497,737,129円で前年度と比較して111,548,851円(8.05%)の増加となりました。

営業費用は、1,479,758,099円で総費用の98.8%を占めており、前年度と比較して、増加した科目は、原水及び浄水費92,200,365円(16.06%)、配水及び給水費18,338,110円(15.27%)、減価償却費4,619,106円(0.89%)、資産減耗費154,379円(0.36%)です。

一方、減少した科目は、受託工事費814,274円(24.71%)、総係費321,737円(0.31%)、です。

結果、営業費用全体としては、114,175,949円(8.36%)の増加となりました。

営業外費用は、17,979,030円で総費用の1.2%を占めており、前年度と比較すると、支払利息及び企業債取扱諸費で2,606,291円(16.39%)減、雑支出で20,807円(0.44%)減、営業外費用全体では2,627,098円(12.75%)の減少となりました。

なお、今年度は特別損失の計上はありませんでした。

科目	令和4年度(円)	令和3年度(円)	増減額(円)	増減比(%)
水道事業費用	1,497,737,129	1,386,188,278	111,548,851	8.05
営業費用	1,479,758,099	1,365,582,150	114,175,949	8.36
原水及び浄水費	666,434,782	574,234,417	92,200,365	16.06
配水及び給水費	138,433,955	120,095,845	18,338,110	15.27
受託工事費	2,480,546	3,294,820	△ 814,274	△ 24.71
総係費	104,395,942	104,717,679	△ 321,737	△ 0.31
減価償却費	524,645,985	520,026,879	4,619,106	0.89
資産減耗費	43,366,889	43,212,510	154,379	0.36
営業外費用	17,979,030	20,606,128	△ 2,627,098	△ 12.75
支払利息及び企業債取扱諸費	13,297,093	15,903,384	△ 2,606,291	△ 16.39
雑支出	4,681,937	4,702,744	△ 20,807	△ 0.44
特別損失	0	0	0	—
災害による損失	0	0	0	—
過年度損益修正損	0	0	0	—

ウ. 単位当たり収益費用の比較

令和4年度の有収水量1m³当たりの収益、費用を前年度と比較すると次の表のとおりです。

有収水量1m³当たりのコストを費用別に前年度と比較すると、減少した項目及び金額は、支払利息及び企業債取扱諸費0.43円です。

一方、増加した項目及び金額は、原水及び浄水費16.63円、配水及び給水費3.32円、総係費0.13円、減価償却費1.68円、資産減耗費0.1円です。

(単位:円/m³)

区分	収益		区分	費用	
	令和4年度	令和3年度		令和4年度	令和3年度
給水収益 (供給単価)	200.44	199.72	原水及び浄水費	112.99	96.36
			配水及び給水費	23.47	20.15
その他営業収益	3.73	3.58	総係費	17.7	17.57
受取利息配当金	0.28	0.28	減価償却費	88.95	87.27
他会計補助金	0	0	資産減耗費	7.35	7.25
他会計負担金	0.18	0.02	その他営業費用	0	0
長期前受金戻入益	46.03	46.14	支払利息及び企業債取扱諸費	2.25	2.68
雑収益	0.85	0.86	雑支出	0.79	0.79
小計	251.51	250.6	小計	253.5	232.07
受託工事収益	0.42	0.55	△長期前受金戻入益	△ 46.03	△ 46.14
合計	251.93	251.15	合計(給水原価)	207.47	185.93

エ. 人件費(職員給与費)

令和4年度の損益勘定職員給与費は、57,139,317円で、総費用に占める割合は、3.82%となっています。

職員給与費の給水収益に対する割合は4.83%で、前年度と比較して0.12ポイント高くなりました。職員1人当たり有収水量及び営業収益は、水道事業における労働生産性をもっとも端的に表すものといわれており、いずれの数値も令和3年度経営指標の約1.4倍以上となっています。

区 分	令和4年度	令和3年度	比較増減	令和3指標
損益勘定職員(人)	10	10	0	—
損益勘定職員給与費(円)	57,139,317	56,012,086	1,127,231	—
職員1人当たり有収水量 (m ³)	589,844	595,903	△ 6,059	415,557
職員1人当たり営業収益 (千円)	120,429	121,148	△ 719	75,101
職員1人当たり給水人口 (人)	5,688	5,673	15	3,746

※職員及び職員給与費については、会計年度任用職員人数及び会計年度任用職員給与費を含む。
令和4年度10人(うち会計年度任用職員3人)、令和3年度10人(うち会計年度任用職員3人)

オ. 水道料金の収入状況(税込み)

令和4年度の水道料金収入状況は、次表のとおりです。

当年度分の収納率は、92.13%となり前年度と比較して0.1ポイント減少、過年度分の収納率は、95.32%で前年度と比較して0.23ポイント減少しました。

また、口座振替による入金は、月末振替翌月収納となるため、3月分の口座振替額(81,805,337円)を収入済みとみなすと、実質的には当年度分の収納率は、98.42%となり、前年度と比較して0.17ポイント減少しました。

区 分		令和4年度	令和3年度	増減額(円)	増減比(%)
当年度分	調定額(円)	1,300,447,454	1,309,124,252	△ 8,676,798	△ 0.66
	収入済額(円)	1,198,094,841	1,207,395,233	△ 9,300,392	△ 0.77
	収納率(%)	92.13	92.23	—	—
過年度分	調定額(円)	106,409,790	107,321,442	△ 911,652	△ 0.85
	収入済額(円)	101,429,254	102,400,748	△ 971,494	△ 0.95
	不納欠損	0	148,387	△ 148,387	△ 100.00
	収納率(%)	95.32	95.55	—	—

カ. 経営分析比率

収益性を示す総収支比率は99.22%で前年度と比較して8.75ポイントの減少、単年度黒字の目安となる経常収支比率は99.22%で前年度と比較して8.75ポイントの減少、上水道固有の事業に関わる営業収支比率は81.52%で前年度と比較して7.41ポイントの減少となりました。

(単位:%)

区 分	算 式	令和4年度	令和3年度	令和3指標
総収支比率	総収益/総費用×100	99.22	107.97	111.37
経常収支比率	経常収益/経常費用×100	99.22	107.97	111.49
営業収支比率	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{営業費用}-\text{受託工事費用}} \times 100$	81.52	88.93	99.67

④ 財政状態について

最近2年間の貸借対照表は、④－1表のとおりです。

資産合計は、前年度と比較して215,505,204円減少しました。

その内訳は、固定資産は68,569,688円減少し、流動資産は146,935,516円減少しました。

また、負債・資本の合計も215,505,204円減少しました。

その内訳は、固定負債が90,145,350円減少、流動負債が35,322,970円減少、繰延収益が78,287,361円減少、資本金が103,808,184円増加、剰余金が115,557,707円減少しました。

④－1表

	令和4年度(円) (A)	令和3年度(円) (B)	比較増減(円) (A)－(B)	前年度比(%) (A)/(B)	構成比率(%)	
					令和4年度	令和3年度
固定資産	12,631,819,583	12,700,389,271	△ 68,569,688	99.46	85.50	84.73
流動資産	2,141,559,279	2,288,494,795	△ 146,935,516	93.58	14.50	15.27
資産合計	14,773,378,862	14,988,884,066	△ 215,505,204	98.56	100.00	100.00
固定負債	589,960,699	680,106,049	△ 90,145,350	86.75	4.00	4.54
流動負債	337,244,254	372,567,224	△ 35,322,970	90.52	2.28	2.49
繰延収益	5,947,203,578	6,025,490,939	△ 78,287,361	98.70	40.26	40.20
資本金	6,771,502,349	6,667,694,165	103,808,184	101.56	45.83	44.48
剰余金	1,127,467,982	1,243,025,689	△ 115,557,707	90.70	7.63	8.29
負債資本合計	14,773,378,862	14,988,884,066	△ 215,505,204	98.56	100.00	100.00

④-2表は、財務状態を示す指標です。

事業の安全性を見る視点として、自己資本構成比率については90%を超え、財務状況は安定しています。固定比率については100%を下回っており、流動比率(適正な比率は、200%以上)は、635.02%です。財務状況は安全かつ安定的な経営状態となっているといえます。

④-2表

区 分	算 式	令和4年度	令和3年度	令和3指標
固定資産構成比率(%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$	85.50	84.73	86.43
固定負債構成比率(%)	$\text{固定負債} / \text{負債資本合計} \times 100$	3.99	4.54	23.66
自己資本構成比率(%)	$\frac{\text{資本合計} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	93.72	92.98	72.52
固定資産対長期資本比率(%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本合計} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$	87.50	86.89	89.87
固定比率(%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本合計} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}} \times 100$	91.23	91.13	119.18
流動比率(%)	$\text{流動資産} / \text{流動負債} \times 100$	635.02	614.25	354.57

以上が令和4年度の事業概況であります。

近年の給水収益の減少傾向に対して、動力費の高騰をはじめとする物価上昇などの影響もあり、今年度の営業収支はマイナスとなりました。

「美濃加茂市新水道ビジョン」の基本理念である「生活を支える、安全で強い水道を次世代に」の実現に向け、「安全」、「強靱」、「持続」の3つの観点から、気象・災害及び危機管理リスクを踏まえた対策の実施や、人口減少などの社会環境の変化を見通した事業運営の効率化や、計画的な施設の更新を図り、引き続き、安定給水能力の向上に努めてまいります。